

# 水道事業及び下水道事業の経営戦略の改定について

## 1. 経営戦略について

上下水道の経営戦略は、人口減少などによる収益減少や施設の老朽化による更新費用の増大といった厳しい経営環境の下で、中長期的に安定したサービスを提供するための基本計画となっています。計画期間については、中長期的な視点で経営基盤の強化などに取り組むことができるように、令和8年度から17年度までの10年間としています。

今回の改定は、現行の経営戦略の見直しから5年が経過していることに加えて、事業の進捗状況や社会情勢などの変化を反映し、より質の高い新たな計画とするために実施するものです。

## 2. 主な改定ポイント

### ①水道事業

#### (1) 現状と課題《P4～》

- ・令和9年度から名寄駐屯地への給水を予定し、一時的な収益の増加が見込まれますが、給水人口の減少などから水需要の減少傾向が続くことが想定されるため、将来の需要を踏まえた適切な規模での設備更新が必要となります。
- ・浄水場の受託水質検査は、機器更新費用の増加などから費用対効果が得られないため、令和9年度をもって運転管理上必要な水質検査を除き廃止します。

#### (2) 投資・財政計画《P15～》

- ・耐用年数を超えた浄水場電気設備の更新工事や耐震化による事業費の増加、物価上昇等による費用の増加等の影響により、損益は徐々に悪化することが見込まれます。
- ・今後、安全性を確保した施設を有し、安定的で持続可能な事業経営を目指すためには、現行料金の算定期間が終了する令和11年度までに様々な課題を整理し、事業見直しと財政状況の検証を進め、料金水準の見直しを行う必要があります。

#### 【経営指標】

	(%)										
	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	平均
経常収支比率	100.92	110.28	104.42	103.18	99.13	96.71	95.47	93.22	91.00	89.54	98.39
累積欠損金比率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
供給単価	289.42	292.83	293.29	293.68	293.88	294.17	294.48	294.74	294.74	294.95	293.62
給水原価	309.92	274.28	292.47	297.48	311.41	320.64	331.75	335.13	343.88	349.42	316.64
料金回収率	93.38	106.76	100.28	98.72	94.37	91.74	88.76	87.94	85.77	84.47	93.22

#### (3) 効率化・経営健全化の取組み《P19～》

- ・災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、急所施設や避難所などの重要施設に接続する上下水道管路などについて、限りある財源の中、機能維持の

ための更新事業に併せて耐震化の推進に取り組んでいきます。

- ・業務全般について精査を行い、人員不足の解消や民間事業者のノウハウを導入した市民サービスの向上、検針業務の効率化等の課題解決に向け、窓口業務の包括委託導入の検討を始めています。

## ②下水道事業

### (1) 現状と課題《P 4～》

- ・公共下水道の整備は概ね完了し、平成17年度以降は新規地区の整備には着手していないため、今後利用者の増加が見込まれず、節水意識や節水機器の普及により有収水量が減少していくものとみられます。
- ・施設設備の更新や物価上昇等の費用増加が見込まれ、健全運営を維持していくためには、ストックマネジメント計画に基づき、改築更新費用が急増しないよう事業費の平準化を図り、適切な維持管理を行う必要があります。

### (2) 投資・財政計画《P 15～》

- ・施設や管渠の老朽化が進み更新需要が高くなることから、下水道ストックマネジメント計画に基づいて投資水準の平準化を図りながら事業を進める方針とします。
- ・今後、維持管理や老朽化対策を行いながら、安定した下水道事業の運営を行うためには、令和11年度までの使用料算定期間において、経営分析や事業評価を踏まえて使用料水準の見直しを行う必要があります。
- ・『ウォーターPPP』については、持続可能な下水道事業経営の実現に向けて導入の検討を進めます。

#### (経営指標)

	(%)									
	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
経常収支比率	101.73	101.67	101.65	101.57	101.59	101.53	102.08	102.09	102.10	102.05
累積欠損金比率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
汚水処理原価	165.05	166.07	168.29	170.86	173.76	175.72	177.42	179.19	180.91	182.50

### (3) 効率化・経営健全化の取組み《P 18～》

- ・水道事業と同様の内容について取り組んでいきます。
- ・近隣自治体との広域化・共同化事業として、名寄市、美深町、下川町、音威子府村とともに「し尿等共同処理事業」を令和12年度から開始する予定です。

## 3. スケジュール

(1/27、2/5) 経営審議会にて、素案を審議

(2/18～3/19) パブリックコメント実施 (3月末) 公表